

CORPORATE PROFILE

sanofi

MAT-JP-2505289-1.0-08/2025



Camille De Craene, Associate Scientist, Ghent, Belgium



sanofi

●

私たちは人々の暮らしを
より良くするため、
科学のもたらす奇跡を
追求します

●

Serge, Digital Business Analysis Lead Omnichannel, Japan

Takahiko, Country Lead, Japan

Yoko, CFO, Japan



画期的な医薬品やワクチンを開発し続ける私たちの原動力は、常に「患者さんにとって最善の選択肢を見つけない」という強い想いです。

私たちの革新的な科学、技術、そして高度な製造技術を活用して、世界中の人々の不可能を可能にすることを目指しています。

そしてその全ての過程において、患者さんの声に寄り添い、*患者さんとともに*意思決定を行いより良いソリューションを迅速に届けます。

私たちは、*人々の暮らしをより良くするために科学のもたらす奇跡を追求しています。*

その過程で自分たちの可能性に驚かされることもしばしばです。

そして、私たちはそこで立ち止まりません。

成果が生まれたその瞬間には、すでに次なる一歩を踏み出しています。



私たちの戦略

患者さんのために
より速く、より遠くへ。

私たちには、患者さんや医療システム、社会全体により大きなインパクトを生み出すための戦略があります。

4つの優先事項

成長に
注力する



Stefanie Kutschmann,
Operational Supervisor,
Germany

イノベーションを
リードする



Cytometry experiments
Performed within the
High Throughput
Profiling Unit

効率化を
加速する



Richard Acosta Dianderas,
Scrum Master, Paris, France

組織の在り方、
働き方を見直す



Ilyassou Sow, Project Manager,
Digital Workplace Solutions,
France

#1

焦点を絞ったポートフォリオと
パイプライン全体に
免疫システムに関する
深いノウハウを活用します。

#2

患者さんへの医薬品および
サービスの提供を加速するために
AIやその他の先進技術を
積極的に採用します。

サノフィは、*研究開発型*の、*AIを活用*したバイオ医薬品企業であり、
*人々の生活をより良くし、力強い成長をもたらす*ことに尽力しています。

#3

私たちの原動力は
「人々の生活をより良くするため
科学の奇跡を追求する」という決意です。

#4

すべてのステークホルダーに
利益をもたらすために
長期的に成長し続けます。

免疫科学領域に関する深い知識と経験を、 ポートフォリオとパイプラインに活用

免疫&炎症
(I&I)

ワクチン

I&Iとワクチンの
リーダーシップを維持

神経炎症

移植 &
1型糖尿病

がん

強みを生かせる領域で
規模を拡大

希少疾患

既存の強みと機能を
生かし
新たな機会を追求

その他の
免疫関連疾患

パイプラインを
活用しながら
関連領域での
拡大を目指す

サノフィは、以下の重点疾患領域において イノベーションを推進しています

ワクチン

ワクチンは公衆衛生に欠かせない存在です。私たちのワクチンは、毎年5億人の人々を感染症から守っています。私たちは安全性や品質に決して妥協することなく、最高水準のワクチンや発症抑制・予防用の抗体薬を製造しています。

- RSウイルス感染症
- インフルエンザ

スペシャルティ ケア

5つの領域で構成されているスペシャルティケア部門では、免疫系のバランスを取り戻す医薬品や、がん治療の変革、希少疾患のケア改善のための長期的な取り組みや新たな治療へのアプローチを探索しています。

- 免疫領域
- オンコロジー領域
- 希少疾患領域
- 希少血液疾患領域

ジェネラル メディスン

私たちの医薬品は、人々の健康管理に役立つとともに、医療制度の負担軽減にも貢献しています。私たちは長年にわたり、糖尿病や心血管疾患などの慢性疾患に悩む人々に医薬品を届けています。

- Type1ダイアベティス (1型糖尿病)
- Type2ダイアベティス (2型糖尿病)

AIを大規模に活用する初のバイオ医薬品企業に

- 患者さんに画期的な新薬を迅速に提供するため、創薬を加速し、研究開発の生産性を向上させ、生産を効率化
- データとAIを全社員に提供し、全社的なカルチャーシフトを推進
- 責任あるAI:ステークホルダーの安全を守りながらAI活用を推進

出典: 2023年6月13日付グローバル・プレスリリース

目標達成に 向けた3つのAI

エキスパートAI

膨大な計算能力、機械学習と訓練されたアルゴリズムでチームを強化し、医薬品開発や複雑な製造プロセスを最適化することで、分子の発見から患者さんに治療薬をお届けするまでの期間を短縮

スナッカブルAI

全社員が日常業務で使えるAIアプリでデータを共有することで、チームがよりよい判断を下し、リソース配分の効率を上げるためのヒントや助言を提供

生成AI

時間がかかり付加価値を生まないタスクを減らし、クリエイティブな作業に取り組み、よりよい意思決定を行い仕事を進められるよう支援

世界のサノフィ



世界の**60カ国**で
事業を展開しています



約**39カ所**に製造拠点
約**13カ所**に
開発拠点があります



サノフィの医薬品と
ワクチンは
130カ国で流通
しています



毎年**21億個**以上の
製品を生産し、何百万もの
人々の生活に変化を
もたらしています



600万人の乳児が
RSウイルスに対する
予防接種を受けています



私たちのワクチンによって毎
年世界中で**5億人**が
予防接種を受けています



現在開発中の医薬品や
ワクチンによって
4,000万人の患者さんが
恩恵を受ける可能性があります

ビジネスと一体化したサノフィの **サステナビリティ**

企業の社会的責任(CSR)において、私たちは健康と医療、そしてそれらに影響を及ぼす環境問題に取り組むことを目標としています。私たちは、サステナビリティに対する主要な取り組みを連携させ、環境が健康に与える悪循環を好循環へと変え、公平な医療アクセスの向上と環境へのインパクトにアプローチします。



Access to Healthcare

ケアプログラムに対する野心的で包括的なアクセスを構築して持続可能で公平な**医療アクセス**を確保する

Environmental **I**mpact

バリューチェーン全体で私たちの製品と事業活動の**環境へのインパクト**を最小限にしつつ、事業を環境の変化に適応させる

Resilience of Healthcare Systems

環境フットプリントを低減する協調的で協同的な取り組みを通じて**ヘルスケアシステムのレジリエンス**を高め、医療ケアの提供方法に変革をもたらす

非営利ユニット Global Health Unit

医薬品の寄付など、40以上の最貧国において医療アクセスへの貢献を続けています

Foundation S THE sanofi COLLECTIVE

慈善団体であるFoundation S(サノフィ・コレクティブ財団)は、人道支援や医薬品の寄付などを通じて、気候変動の影響を受ける脆弱なコミュニティと医療システムへの支援を届けています



Planet Health Japan

事業活動に意義ある変化を起こし、目に見える持続可能なインパクトを地球にもたらせる状態まで高め、サノフィが社会的な責任を果たし貢献することを目指しています。環境に配慮した移動手段の選択や、プラスチック使用の更なる削減、患者さんの治療全体にわたるカーボンフットプリントの探索など、多方面で展開。毎年6月には世界環境デー（6月5日）にちなんで環境月間を設定、全社で環境に対する取り組みを行っています。



教職員向け訪問プログラムの様子

患児へのサポート

1型糖尿病の子どもをサポートし、学校に通う子どもたちの健康的なライフスタイルを啓発するため、2018年より公益社団法人日本糖尿病協会と協同し、「KiDS Project」を展開しています。また、血友病のある子どもの学校を支える教職員向けレクチャープログラムや、生徒と教職員に授業形式でアレルギー疾患を啓発するプログラムも実施し、小児患者さんのより安全で楽しい学校生活と、次世代を担う子ども達への健康教育に取り組んでいます。



企業ボランティア・アワード 「大賞」を受賞

通常業務の傍ら有志で集まった従業員が運営する、健康・医療分野を中心としたボランティア活動に、毎年過半数以上の従業員が積極的に参加しています。2024年には、子どもの貧困を筆頭に、健康格差を含めた子どもを取り巻く社会課題の解決に取り組む認定NPO法人キッズドアと連携し、中高生向けの夏休み特別授業を開催。この活動とレクチャープログラムについて、東京ボランティア・市民活動センター主催の第10回企業ボランティア・アワードで「大賞」を受賞しました。



被災地支援活動

自然災害による被害に対し、サノフィグループの従業員が連帯し支援活動に取り組んでいます。日本では、東日本大震災、熊本地震、令和6年能登半島地震の被災地でボランティア活動を実施しました。また、医療救助や避難者支援のために、従業員の社会貢献への思いを形にするマッチングギフトプログラムや支援金拠出を行いました。

A Million Conversations

「A Million Conversations」は、女性、LGBTQ+、障がい者、少数民族など全体に占める割合が人口比率より低い属性の人々、いわゆるマイノリティの人々と医療関係者との信頼関係の構築を目標に掲げ、サノフィが全世界で進めているイニシアチブです。

コミュニティの多様性を反映し、医療をよりインクルーシブで公平なものに変革するために、私たちは取り組みを続けています。

サノフィ次世代奨学金



マイノリティとみなされている人々がヘルスケア関連職への道を歩めるように、経済的支援、メンターシップ、キャリア相談、インターンシップなどを提供しています。日本ではヘルスケア業界を目指す女子学生を対象にしています。

インクルーシブな対話



医療への不信をなくし信頼を構築するために、ヘルスケア業界はまず、多くの人々の声に耳を傾けねばなりません。当事者、医療関係者、およびサノフィ社員が対話できる機会を設け、理解を深めます。

社会に影響を及ぼす



社会に影響を及ぼすには、多くの組織や政策立案者による活動が必要です。サノフィは、政府や他の企業との連携を進め、マイノリティの人々の医療への不信の原因を探っていきます。

Employee Resource Group (ERG)



gender 

私たちは、すべての社員がジェンダーに捉われることなく、ハッピーになれるサノフィへ導きます。そのために、まずはエクイティを、そして本当のイクオリティを実現します。



ability 

アクセシビリティ、ニューロダイバーシティ(脳や神経の多様性)、そしてがんや糖尿病などの長期的で人生を変える疾患に影響をうけるメンタルウェルビーイングに焦点を当て、障がい者インクルージョンを加速します。



generations 

将来にわたって持続可能な形でビジネスを継続できるよう、世代間のバランスがとれた組織を構築します。また、年齢や社歴に関わらず社員同士がより自由に意見を交わし、自分と異なる世代を尊重することができるカルチャーを実現します。



pride 

アライ活動を通じて、誰もがベストパフォーマンスを発揮できる社内環境を構築します。またLGBTQ+当事者の医療アクセス向上を目指します。



culture and origins 

多様なカルチャーへの理解や適応力の向上を通じて、サノフィ・ジャパン社員のパフォーマンスを高めます。

私たちは、あらゆるレベルの会話を通じて、ジェンダー、LGBTQ+、世代、文化、アビリティ、出身の公平性を高めます



Yusuke, New Dermatology Marketing Specialist, Japan Honoka, Commercial Effectiveness, Japan Kikka, Project Management Specialist, Japan Mizuha, Market Access Specialist, Japan Yuka, Immunology Medical Project Specialist, Japan

社員一人ひとりが ベストな状態で働ける環境づくり

私たちは、グローバル・ヘルスケアリーダーとして世界中の人々を支えていくために、社員一人ひとりが活き活きと働くことのできる環境と、自己実現の機会をサポートする制度の構築、そして永きにわたるキャリア形成を可能にするための福利厚生の充実に努めています。

キャリア開発支援の例

- 「社内公募」により、国・部門を超えて、仕事やプロジェクトなどのキャリア機会を提供
- 「キャリア開発プラットフォーム」にて、多岐に渡る情報・機会を一元的に提供し、自立的なキャリアを支援
- 「自己育成ツール」で、オンラインを中心にさまざまなトピックの開発機会を提供



主な福利厚生

- フレックスタイム制度
- 在宅勤務制度
- 時間単位有休
- 育児、ボランティア等にも使用可能な「ラ・メゾン休暇」(失効有給休暇積立休暇)
- 最大1年間の育児・介護休業期間中の休業補償

これまでに受けた主な認証

work with Pride

Rainbow 2025

「PRIDE指標2025」
レインボー認定

D&I AWARD
BEST WORKPLACE
2023

D&I AWARD 2023で
最上位の「ベストワーク
プレイス」を取
得

女性活躍推進法に基
づく「えるほし」企
業に認定

「子育てサポート企
業」
業 業

会社概要

会社名	サノフィ株式会社
代表取締役社長	岩屋 孝彦
設立	2006年1月1日
資本金	5億円
売上高	2,300億円（2024年）
社員数	約1,300人（2025年現在）
本社所在地	〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号東京オペラシティタワー
代表電話	03-6301-3000
事業内容	医薬品等の製造販売・輸入、研究開発
URL	https://www.sanofi.co.jp

事業拠点

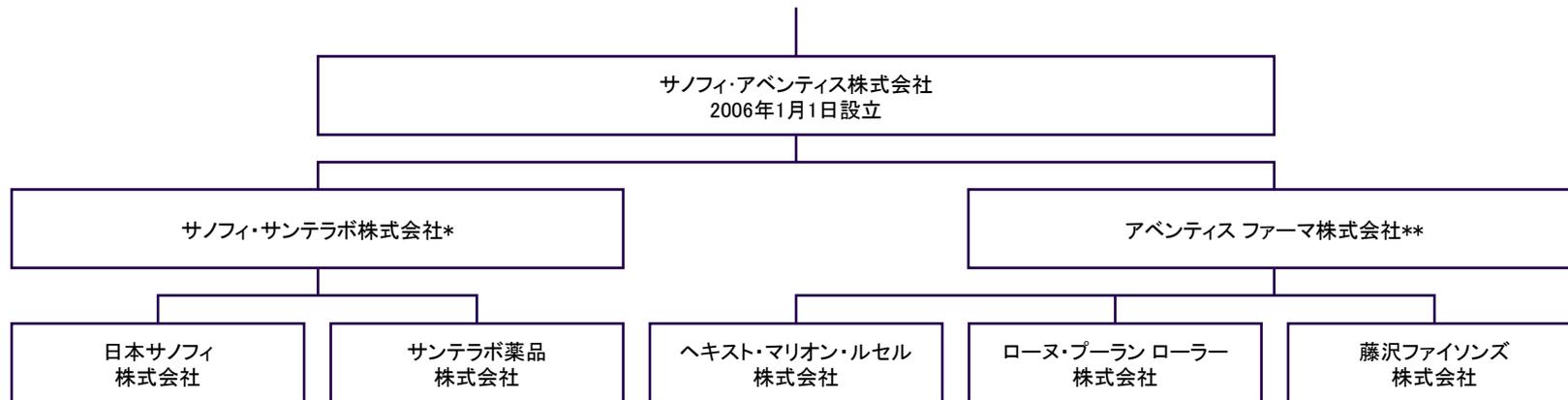
東日本物流センター	〒341-0009 埼玉県三郷市新三郷ららシティ3丁目3番1号
西日本物流センター	〒567-0054 大阪府茨木市藤の里2丁目15番8号

組織体制

スペシャルティケア(免疫疾患・希少疾患・希少血液疾患・オンコロジー)
ワクチン
ジェネラルメディスン(糖尿病・循環器疾患・固形がん)

サノフィ株式会社

2012年10月1日社名変更



* サノフィ・サンテラボ(株)は、1971年のスターリングウインスロップ(株)の創業に遡ります

** アベンティス ファーマ(株)は1919年の日本薬品洋行の創業に遡りますが、同社の前身会社には、ヘキストジャパン(株)、メルレル(株)、フナイ薬品(株)、森下製薬(株)などが含まれます

2013年7月1日 サノフィパスツール株式会社を吸収合併

2016年7月1日 ジェンザイム・ジャパン株式会社を吸収合併

2017年1月1日 メリアル・ジャパン株式会社との事業交換により、エスエス製薬株式会社を子会社化

2019年5月1日 バイオペラティブ・ジャパン株式会社を統合

2025年4月30日 エスエス製薬株式会社を分社

Thank *you*

サノフィについての詳細は下記ウェブサイトをご覧ください

sanofi.co.jp/ja

Facebook



[サノフィ](#)

Instagram



[sanofi
japan](#)

LinkedIn



[Sanofi](#)



sanofi